学校番号	1004

平成 31 年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史Ａ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	日本史Ａ 改訂版　山川出版社						
副教材等	詳説　日本史資料集　再訂版（山川出版社）・ビジュアル版日本史図録(山川出版社)						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史とは単なる暗記物ではなく、様々なことが絡み合ってえがかれているということを理解させる。
・常に時代の流れを感じつつ、「なぜ？」という気持ちを持って接する。
・歴史を背景とした日本の諸事情を踏まえ、世界の中にある日本のあり方について考える。
・様々な人物が織り成す出来事を考える

2　学習の到達目標

・様々な資料・史料に親しみ、歴史的思考を養う。
・日本国民として、様々な歴史的事象に興味をもち、必要な事柄について理解をする。
・現代の諸課題に着目し、近現代を中心とする歴史を考察させて、歴史的思考力を培う。
・日本の歴史を地理的条件や世界の動きと関連付けながら理解し、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。
・過去をしっかりと見つめ、未来に生かせていけるような態度を身につけさせる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	近現代史を中心とする日本の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求するとともに、国際社会に主体的に生き、国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする態度の育成。	現代世界の諸課題を歴史的観点から思考・考察し、国際社会の変化をふまえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	近現代史を中心とする日本の歴史に関する史料（資料）を収集し、有用な情報を読み取ったり、図表にまとめたりしている。	近現代史を中心とする日本の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身につけている。
評価方法	プリント レポート 【主題学習】 グループワークとふりかえりシート	定期考査 プリント 【主題学習】 レポート プレゼンテーション	定期考査 プリント 【主題学習】 ポスターセッション	定期考査 小テスト（確認テスト） 【主題学習】 グループワークとふりかえり

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期	私たちの時代と歴史	日比谷公園の歴史から 日本の近現代を振り返る 日本の政治・経済の中心地にある日比谷公園は近現代史の一大舞台となってきたことを学ぶ。		○	○		b:近代市民にとっての公園は、国家行事に参加し、政治活動を共有し、教養を深め憩う場所であったことを読み取れたか。 c:歴史と現在との結びつきを考えることを通して歴史への関心を高め、歴史を学ぶ意義に気づくことができたか。 d:基本的知識を身につけたか。	確認テスト 定期考査 レポートやワーク
	近代社会の動揺と近代への胎動	・幕藩体制の動揺と政治改革 ・新しい経済構造と学問の芽生え ・日本を取り巻く世界の変容		○ ○	 ○ 	○ ○ ○	b:幕府・諸藩の経済的窮乏から社会不安に対して天保の改革や諸藩の改革を理解できたか。列強の動きと鎖国政策動揺過程が理解できたか。 c:図説などの資料集を見て新経済構造の理解と文化や思想面を有効に理解できたか。 d:基本的知識を身につけたか。	確認テスト 定期考査 レポートやワーク
	開国と明治維新	・アジアの激動と日本の開国 ・江戸幕府の滅亡 ・明治維新 ・富国強兵 ・明治初期の外交 ・殖産興業と文明開化	 ○ 	 ○ ○ ○ ○ ○	○ 	○ ○ ○ ○ ○ ○	a:国際社会に入る日本について関心がもてるか。 b:幕府崩壊から新政府への移行過程と新政府の諸政策を思考・判断できるか。 c:図説などの資料集をみて開国～新政府の動きを有効に理解できたか。 d:基本的知識を身につけたか。	確認テスト 定期考査 レポートやワーク
2学期	立憲国家の成立	・自由民権運動 ・立憲制の成立 ・立憲政治の展開 ・日清・日露戦争 ・産業革命と社会の変容 ・明治の文化	 ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ 	 ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a:立憲政治から日清・日露戦争までの国内外の課題について関心をもつ。 b:いかに立憲国家が樹立し、国際的に容認されていくかのプロセスを考える。 c:グラフやデータを読み取り当時の社会についてまとめる。 d: 基本的知識を身につけたか。	確認テスト 定期考査 レポートやワーク

二学期	第一次世界大戦と日本	・政党政治の展開 ・ワシントン体制 ・経済・社会の変容 ・市民文化	 ○	○ ○ 	 ○ ○	○ ○ ○ ○	a：第一次世界大戦前後のできごとや市民文化に関心をもつ。 b：大正政変からワシントン体制など国際問題について考える c：グラフやデータを読み取る。写真を通して当時の文化の特色を読み取る。 d：基本的知識を身につけたか。	確認テスト 定期考査 レポートやワーク
	昭和の恐慌と満州事変	・恐慌の時代 ・政党内閣期の内政と外交 ・軍部の台頭	○ ○ ○	○ ○ ○		○ ○ ○	a：大きく変化する社会への課題意識を高める。 b：世界経済との関連や協調外交から軍部台頭について考察する。 c：グラフを読み取る。 d：基本的知識を身につけたか。	確認テスト 定期考査 レポートやワーク
三学期	第二次世界大戦と日	・日中戦争 ・重化学工業化と統制経済 ・第二次世界大戦と太平洋戦争	○ ○	○ ○	 ○ ○	○ ○ ○	a：15 年戦争に関心をもつ。 b：軍部のクーデターから太平洋戦争までを考察する。 c：グラフから当時の社会を読み取る。 d：基本的知識を身につけたか。	確認テスト 定期考査 レポートやワーク
	占領下の日本	・占領と改革 ・冷戦の開始と講和	○ ○	○ ○		○ ○	a：国際社会復帰への国家・社会に関心を持つ。 b：GHQ の諸政策と民主化、サンフランシスコ条約と東アジアの変化を考察。 d：基本的知識を身につけたか。	確認テスト 定期考査 レポートやワーク
	経済繁栄と保守長期政権	・55年体制 ・高度経済成長期の経済と社会	 ○	○ ○	○ ○	○ ○	a：戦後日本の繁栄に関心を持たせる。 b：保守合同や経済大国への歩みを考察。 c：写真や資料を見て当時の社会の理解に役立てる。 d：基本的知識を身につけたか。	確認テスト 定期考査 レポートやワーク
	現代の世界と日本	・冷戦の終結と日本 ・日本社会の動揺	 ○	○ ○		○	a：バブル崩壊から現在の日本の動きに関心をもつ。 b：冷戦終結から今日の日本について考察する。 c：資料を効果的につかう。 d：基本的知識を身につけたか。	確認テスト 定期考査 レポートやワーク

定期考査終了後にノートなどを提出

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。